

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	スポーツリテラシーⅧB(Sports LiteracyⅧB)・サッカー	授業コード	E002152
担当教員名	橋本 堅次郎		
配当学年	4	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	4
履修上の注意または履修条件	指定クラブ学生のみ受講可。		
受講心得	出席は毎回取ります。		
教科書			
参考文献及び指定図書	特になし。		
関連科目	健康の科学、生涯スポーツ指導、スポーツ実践・基礎Ⅰ、スポーツ実践・基礎Ⅱ、スポーツ実践・応用Ⅰ、スポーツ実践・応用Ⅱ		

授業の目的	後期を通して、スポーツ技術・戦略を理解し、各個人の考え方をまとめることにより各種目の指導方法を身につけ、競技力向上に役立てることを目的とします。
授業の概要	

○授業計画		
学修内容	学修課題(予習・復習)	
<b>◆体力</b> セットプレー時の瞬間的な動きの向上		
<b>◆ゲーム分析</b> 1、ゲーム分析のポイント ・現状の把握と課題の抽出 aシステム bスタイル c攻守の中心選手 d攻撃パターン e守備 f得失点パターン g選手個人の能力 hリスタート i基本からのチェック jその他 2、サッカーにおける3つの重要局面 ・自チームが保持しているとき ・On the ballの局面 ・Off the ballの局面 ・相手のチームが保持しているとき ・On the ballの局面 ・Off the ballの局面 ・ボール保持が切り替わるとき 3、攻撃面 ①Onの局面 ・シュート(正確性、キック、ヘディングの技術) ・パス(ファーストタッチが足元、コミュニケーション、アイコンタクト、タイミング、スピード、質(相手に有利)、観る習慣 ②Offの局面 ・リバウンドの意識 ・動きの質(Off the ballの動き) ・身体の向き(判断が遅れる、仕掛けが遅れる) ・コミュニケーション(声、ボディランゲージ) ・サポートの質(アングル、距離、タイミング) 4、守備面 ①ONの局面 ・正しいポジション、プレッシャーをかける、ボールを注視、ステップワーク、構え、間合い、スピードの吸収、身体を寄せる、 スライディングタックル、取られたら取り返す意識 ②Offの局面 ・正しいポジショニング(マークの原則)、アプローチ、チャレンジの優先順位、チャレンジ&カバー、クロス守備(同一視、距離) 5、攻守が切り替わるとき ・守備→攻撃 ・拡がり、深さ、サポートの質 ・攻撃→守備 ・1STDFのアプローチ、リスクマネジメント ・プレーの原則		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」

備考	
----	--

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	<p>◆体力 セットプレー時の瞬間的な動きの向上</p> <p>◆ゲーム分析 1、ゲーム分析のポイント ・現状の把握と課題の抽出 aシステム bスタイル c攻守の中心選手 d攻撃パターン e守備 f得失点パターン g選手個人の能力 hリスタート i基本からのチェック jその他 2、サッカーにおける3つの重要局面 ・自チームが保持しているとき ・On the ballの局面 ・Off the ballの局面 ・相手のチームが保持しているとき ・On the ballの局面 ・Off the ballの局面 ・ボール保持が切り替わるとき 3、攻撃面 ①Onの局面 ・シュート(正確性、キック、ヘディングの技術) ・パス(ファーストタッチが足元、コミュニケーション、アイコンタクト、タイミング、スピード、質(相手に有利)、観る習慣) ②Offの局面 ・リバウンドの意識 ・動きの質(Off the ballの動き) ・身体の向き(判断が遅れる、仕掛けが遅れる)</p>
<b>【知識・理解】</b>	<p>・コミュニケーション(声、ボディーランゲージ) ・サポートの質(アングル、距離、タイミング) 4、守備面 ①ONの局面 ・正しいポジション、プレッシャーをかける、ボールを注視、ステップワーク、構え、間合い、スピードの吸収、身体を寄せる、スライディングタックル、取られたら取り返す意識 ②Offの局面 ・正しいポジショニング(マークの原則)、アプローチ、チャレンジの優先順位、チャレンジ&amp;カバー、クロス守備(同一視、距離) 5、攻守が切り替わるとき ・守備→攻撃 ・拡がり、深さ、サポートの質 ・攻撃→守備 ・1STDFのアプローチ、リスクマネジメント ・プレーの原則</p>
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	
<b>【思考・判断・創造】</b>	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。				
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。				

(「人間力」について)

※以上の観念に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	